

## 県外派遣報告書

審判員名	古宮 里美	所属	高体連
大会名	平成28年度 第70回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会		
期間	平成28年6月4日(土)、6月5日(日)		
会場	高崎浜川体育館・高崎中央体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
6月3日(金)	審判会議	ホテルメトロポリタン高崎	
6月4日(金)	A・Bブロック1、2回戦	高崎中央体育館	
6月5日(金)	レクチャー A・Bブロック準決勝、決勝	高崎浜川体育館	
会議 講義 内容			
<p>レクチャー 吉橋雅一氏より ○レフリーに必要な資質は「ルールの理解」「審判の約束と習慣の活用」バスケットボールというゲームの精神、技術の理解が大切である。 ○プライマリーについて ・トレイルレフリーのアングルの取り方。ボールと一緒にエンドラインに向かってペネトレイトするのではなく、ミドルライン側にペネトレイトをするトレーニングをして、無意識にブラインドにならないようにトレーニングすること。 トップにボールがある時、ローポストからハイポストにプレイヤーがあがってきたことを視野に入れ、パスが入ったときにスペースを捉えられるように、ペネトレイトをして準備する。その時にボールマンからは100%目をきらないように気を付けること。 ・リードレフリーのアングルの取り方。セットアップポジション(場面によってはゴールの右側に行くこともある)からクローズダウンして、スイッチサイドの準備をする。ただし、3つのQ(「クイックシュート」「クイックパス」「クイックドライブ」)が起こりそうな時、ショットクロックが残りわずかになったときはスイッチサイドを控えたほうがいい。 ・どの場合でも、相手レフリーのアングルの理解がとても大切になる。 ○ゲームにおける反則について ・ヴァイオレイションはゲームの流れを左右したり落ち着きを与えたりするので、慎重に判定する。 ギャロップステップ等の技術の理解が必要になる。 ・ファールは「事実」「責任」「影響」が成立したことを確認すること、R,S,B,Qのどれかが崩れた場合に取り上げられるようにする。</p> <p>渡邊亮氏より 考え方がとても大切。コーチやベンチからアピール等があったときに、メンタルが…という前に、自分の位置は正しい位置なのか、いいアングルが取れているのかを考え、正しい位置で判定することを意識するなど、考え方を考えてみるとよい。 課題ばかりいうのではなく、自分のいいところもたくさん言えるようになること。</p>			

実技				
担当試合	期 日	平成28年6月4日(土)	男子	女子
	対戦カード	実践学園	VS	横浜清風
	相手審判	一色渉氏(茨城県)		
ミーティング内容		主任 本間充氏(東京都)・吉橋雅一氏(愛知県)		
<p>本間氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら、ブラインドの位置に動いてしまっていることがあるのでプレイによってセレクトして動いて、いいアングルで見れるようにする。</li> <li>・前半に基準を作る。相手審判が取り上げた基準なども話しながら、早めに決める。</li> <li>・どこを見ているのかを体の角度などで、相手審判へアピールして視野分担・協力をしやすくする。</li> </ul> <p>吉橋氏より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイルでのペネトレイトは内側にペネトレイトすることも必要なので、意識してトレーニングしていくこと。</li> <li>・オフェンス・ディフェンスのどちらに責任があるのかを判断する。</li> <li>・鳴らすべき現象なのか(R,S,B,Qが崩れているのか)を瞬時に鳴らすのではなく、確認できてから鳴らすことも必要。</li> <li>・リードレフリーのとき、右に行って戻ることも大切だが、その場で体の向きだけかえてステイして判定すべき場面もあるのでセレクトすること。</li> </ul>				
全体の感想				
<p>今回初めて関東大会へ派遣していただきました。日本協会より吉橋雅一氏、渡邊亮氏にきていただき、直接お話を聞くことが出来たり反省をいただけたり、レクチャーを受けることができ、とても勉強になりました。</p> <p>1日目のBブロックの勝ち上がりの割り当てをいただき、影響を考えながら吹くことの難しさを改めて感じました。B級の講習会を兼ねた大会ということで、吉橋氏に反省をいただき、「R,S,B,Q」がどうなったかを見極めることが、そのゲームに必要な笛なのか必要ではないのかがわかる1つの材料になること。瞬間で鳴らすことも大切だが、ワントempo遅らせて吹くことも時に必要ということ等、様々なアドバイスをいただくことができ、今後の活動に活かしていきたいと思いました。レクチャーでは、渡邊氏の考え方を覚え、自分自身の良い所をたくさん言えるようにする。というお話がとても印象に残っています。課題を持つことは、もちろん必要ですが良い所を増やしてプラスにすることも、今後活動していくなかでとても大切だと思いました。今回の経験を自分の成長につなげられるように、努力していきたいです。</p> <p>最後になりましたが、群馬県の皆様には準備から大会終了まで様々なお気遣いをしていただき、大変お世話になりました。また、ご指導いただいた皆様、今大会へ派遣して下さった埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>				